



9/18

長年にわたる防犯パトロール活動に感謝

飯野桜ヶ丘地内

長年にわたり安全で安心なまちづくりのために貢献された、村上防犯パトロール隊長の小田平二氏へ村上警察署長から感謝状が贈られました。

平成17年に結成された村上防犯パトロール隊は、青色回転灯装備の車で地域の安全・安心を守るために日夜地域を巡回し、青少年の非行防止や犯罪防止の啓発活動を行っているボランティア団体です。

表彰された小田氏は「体力の続く限りこの活動をやっていきたい。これを機会に皆さんにこの活動を理解していただき、後継者も育成していければ」と話していました。



◀贈られた感謝状を持つ小田ご夫妻

9/18

一生懸命育てた稲を無事に収穫！

金屋小学校の稲刈り体験授業

金屋小学校

金屋小学校全校児童とPTA、地域住民ボランティアの方々が一緒に稲刈り体験を行いました。

高学年の児童が鎌で稲を刈り取り、刈り取った稲を低学年の児童が藁で束ね、はさ木まで運ぶ作業を繰り返しました。稲刈り後は地面に落ちている「落ち穂」も無駄にすることなく、みんなで一生懸命に拾い集めました。

はさがけをしたお米は、11月に行われる収穫フェスティバル（授業参観）で、みんなで美味しくいただきます。



▶刈り取った稲を束ねる児童

9/29

親子で楽しむファミリーコンサート

総合文化会館



▶2人の動きに合わせて踊る子どもたち

歌や体操、手遊びなどを取り入れて親子で楽しむファミリーコンサートが開催されました。

今回出演した鳥取県在住のあそびうたデュオ「ロケットくれよん」の2人は、コンサートやセミナー、ライブなどで全国を回っています。

スタッフを含むおよそ500人の来場者は、手を挙げたりその場をぐるりと回ったりと、2人の動きに合わせて楽しんでいました。

9/29

全日本健康マージャン交流大会inむらかみ

パルパーク神林



▶健康マージャンは、高齢者の認知症予防など健康の面でも注目されています

「第34回国民文化祭にいがた2019」および「第19回全国障害者芸術・文化祭にいがた大会」の一環として全日本健康マージャン交流大会inむらかみが開催されました。

小学4年生から88歳の高齢者まで、総勢300人の健康マージャン愛好家が自慢の腕前を披露。

今大会の最年少出場者で東京都目黒区から参加した菅佐原壮大君(10)は「おばあさんに教えてもらい、健康マージャンが面白いことが分かりました。これからも続けていき、もっと強くなって大会で優勝したいです」と、話していました。



▲おごそかな雰囲気の中で行われた「花所望」

10/2

初企画「町屋の大華展」開催
屏風に草花の美しさ、加わる
千年鮭きっかわ

第19回城下町村上町屋の屏風まつりの開催期間、27軒の参加による初企画「町屋の大華展」が開催されました。

これは「第34回国民文化祭にいがた2019」および「第19回全国障害者芸術・文化祭にいがた大会」の特別連携事業として開催されたものです。

開催前日のイベントでは、千年鮭きっかわを会場に石草流いけ花三代目家元、奥平清鳳氏による花所望の実演が行われ、訪れた村上小学校の児童を含めたおよそ150人は、雅楽の演奏を聴き、屏風と生け花が織りなす美の世界を堪能していました。

10/6

第60回岩船林業振興祭
山北中学校



▶杉の苗木を植樹する高橋市長と子どもたち

第60回岩船林業振興祭が「増やそうよ豊かな森林 みんなの笑顔」をスローガンに山北地区で開催されました。

式典では、さんぽく小学校6年生の代表が「私たちは森林を大切に、豊かな緑を守り、私たちの後世に引き継いでいきます」と誓いの言葉を述べました。また、中継地内の記念植樹会場では、後世への願いを込めた杉の苗木600本を参加者全員で植えました。

10/14

楽しみながら「防災」に取り組む
神納東小学校

神納東地域まちづくり協議会主催の「神納東ふれあい運動会」が開催され、防災の要素を取り入れた3種目を実施しました。

村上市防災士会の協力により実施した「防災〇×クイズ」では、地震や水害時の対応について出題。

「エレベーターに乗っている時、大地震が起きました。外に出るためにすべての階のボタンを押した。〇か？×か？」の問題では、参加した約250人がほぼ2つに分かれ、正解が読み上げられると歓喜の声上がるほどの盛り上がり。楽しく防災を学んだ一日となりました。

※正解：〇が正解。閉じ込められる恐れがあるので、すべての階のボタンを押して、最初に止まった階でエレベーターから降りましょう

▶敷地内にそびえ立つ杉を見上げる来場者



10/5

森林研究所一般公開
新潟県森林研究所（鶴渡路地内）

普段はなかなか見ることができない森林研究所が一般に公開されました。

来場者269人は、10haもの敷地内で行っている研究内容に興味津々。無花粉スギの育成や松枯れから守るべく強い松の育成など、さまざまな研究内容の説明がされました。

当日は、研究所で開発されたナメコやエノキタケを使用したきのこ汁が振る舞われ、来場者は研究所での一日を堪能していました。



▶防災〇×クイズで全問正解し、景品の「防災バッグ」をゲット!